

GENSOUKYO 幻想郷フタナリチンポレスリング  
FUTANARI CHINPO WRESTLING  
MARISA & KOISHI VS JONN & SION *Ecstasy 2*



18  
ADULT ONLY

# GENSOUKYO 幻想郷フタナリチンポレスリング

## MARISA & KOISHI VS JONN & SION

# PUTTARI CHAPO WRESTLING

### Ecstasy 2

またいったあああー♡  
最凶最悪のタッグチンポに  
全く為す術なしっ♡

んおおおっ♡  
イクイク♡イクイク♡  
またイクウウウウー♡

情けない喘ぎ声を上げて  
無理矢理ザーメンを  
巻き上げられていますっ♡

おっ♡おっ♡おっ♡  
じゃ♡じゃせー止まらな…っ♡  
おほほおおおーっ♡

チンポをぶるんぶるん  
震わせてザーメンを  
撒き散らすことしか  
できませんっ♡

# !CAUTION!

この本は東方Projectの二次創作です。が、表紙に描かれているような感じの内容を多分に含みますので、不穏な空気を感じ取った方は慌てずに退避しましょう。

今回は私が  
試合のルールを  
説明するわね♡

幻想郷フタナリチンポ  
レスリングはお互いの  
チンポをイカせあう  
少女同士の真剣勝負！

相手のチンポをイカせて  
勝利を目指すわ

能力や魔法の使用は  
許可されているわよ

今回はタッグマッチだけど  
両選手をKOして初めて  
勝利になるからね

パートナーが敗北した場合  
二対一のまま試合は続行  
されるから注意よ

チンポをイカされて  
しまった場合  
10カウント以内に  
再ポッキしないとKO負けよ

それと相手に中出し  
射精されてしまったら  
KOになるわ

過度な暴力はダメだからね  
ちゃんと相手を気持ちよく  
して勝利を目指しましょう

長くなっただけど  
今回も是非試合を  
楽しんでいって頂戴ね♡

ルールなんて  
読みたくないっていう  
あまのじゃくのために  
私が一言で教えてやる！

とにかく相手を二人共  
イカせまくれって  
ことだあああ！

さあ今年も  
やって参りました!  
幻想郷フタナリ  
チンポレスリング!!

今日はこちら  
人間の里  
特設リングにて  
シーズン2第二試合が  
行われます!!

実況は私  
清く正しい  
射命丸と

姫海棠で  
お送りします

実況&解説

今回の試合は  
完全憑依タッグルール  
で行われます!

詳しくは試合を  
観ながらお話  
するとして:

まずは早速  
選手達に入場して  
貰いましょうッ!



赤コーナーから  
魔理沙&こいし  
タッグの入場です！

二人は完全憑依異変で  
コンビを組んだという  
珍しいタッグですが

今日はどんな試合を  
魅せてくれるので  
しょうかっ!?

マスターは  
霧雨魔理沙選手  
スレイブは  
古明地こいし選手が  
務めます



反対側からは  
最凶最悪の姉妹！  
依神姉妹の入場だー！！

女苑選手がきらびやかな  
アクセサリーに似合いの  
パブリーチンポを携えて

その後ろには紫苑選手の  
姿も確認できますっ

クセのあるタッグですが  
その力は本物です！  
果たしてリングの上で  
どう発揮されるか!?

こちらは  
妹・女苑さんがマスター  
姉の紫苑さんがスレイブ  
となります





それにしても  
お前たち姉妹が  
自ら試合に出るとは  
どういう了見だ？

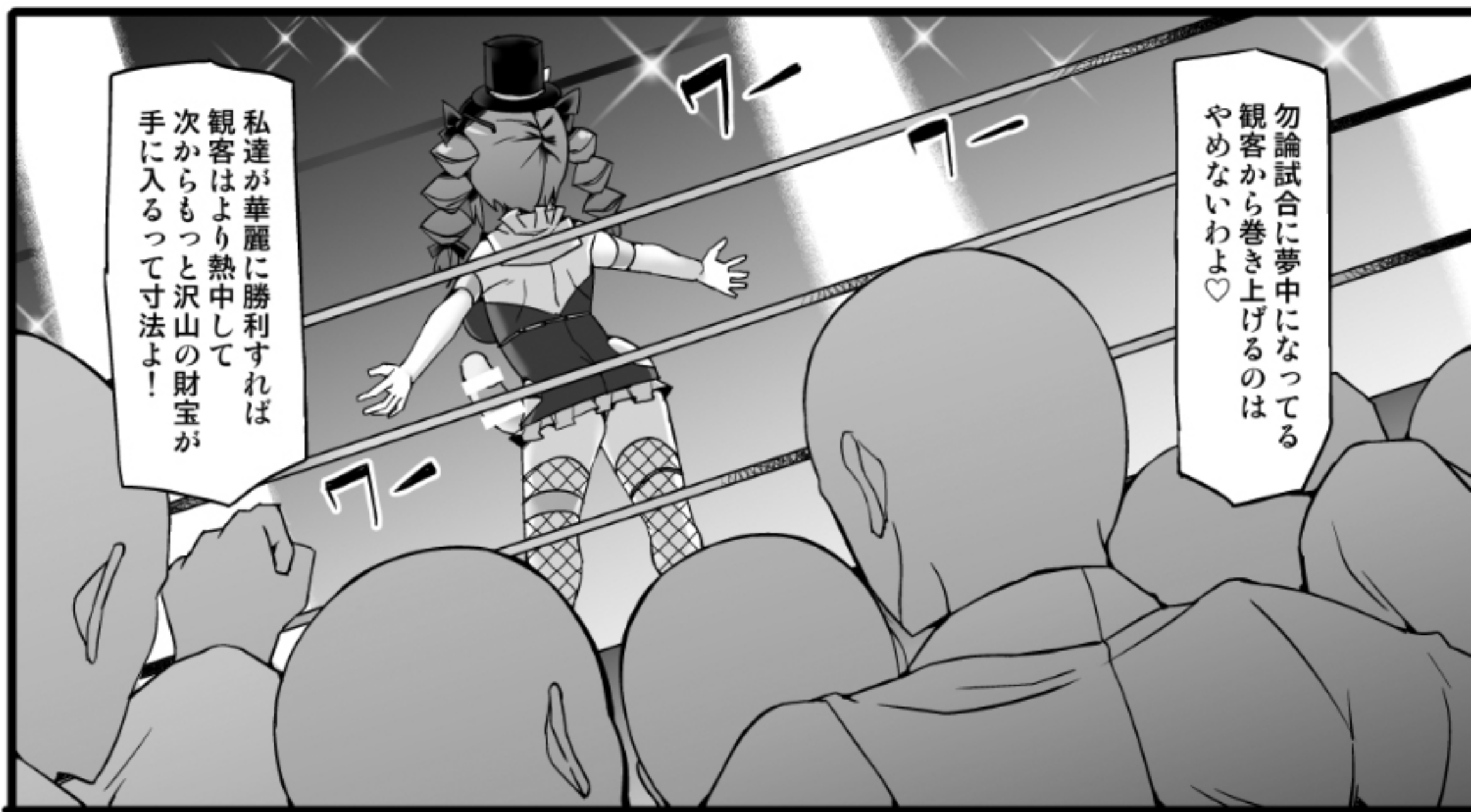
言ってくれる  
じゃないか



さ  
姉さん

こんなザコさつさと  
倒して観客から富を  
巻き上げるわよー

コン



勿論試合に夢中になってる  
観客から巻き上げるのは  
やめないわよ♡

私達が華麗に勝利すれば  
観客はより熱中して  
次からもっと沢山の財宝が  
手に入るって寸法よ！

フー

フー

フー



そう上手くいくかは  
知らんが：

ここでお前達の野望を  
打ち砕いてやるぜ

やるぜー♡



貧乏人風情が私に  
勝てるとは思わ  
ないけど…

ホラ見て私の  
宝飾品♡

あ、これダメですね  
凶器です



さあここで試合開始の  
ゴングが鳴ります!!



没収します

ちゃんと後で  
返してよーっ!!



魔理沙選手  
得意の速攻で女苑選手に  
突っ込んで行くーッ!!

マスター同士の  
対決です!

女苑選手ステップで  
後ろを取った!!

よじもらったー

しまっ…

後ろ!?

予想以上!

はやー

これは  
強烈ううッ!!

女苑選手の腹パンが  
炸裂だッ!!

あやややや!  
しかしこれは暴力の  
反則行為では…!?

判定や  
如何に…!?

レフェリーから  
好き♡のフラッグが  
あがりました!

軽度のリヨナシチュ  
判定ですっ!





ひっ♡ひびく♡  
何これえっ…触られて…  
ないのじっ♡

チンポにどんどん快樂  
送られてくるうっ♡

まりさあっ♡  
いっ♡いっ♡おっ♡  
何されてるのおっ!?

んじゅっ♡いままっ♡  
ちっ♡チンポっ♡  
高速でシラられて  
るうっ♡

女苑選手の  
超高速手コキだっ!!

早すぎて手の  
動きが見えませんっ♡

がっちり掴まれて…  
全然抵抗できないっ♡

おほおほおほ  
こころいっ  
助け…っ♡

んひいっ♡  
無理だよおっ♡

魔理沙のチンポっ  
ピンカンすぎっ…♡

おっ♡ほっ♡  
いっ言っなっ♡  
しょうがなっだっ♡

魔理沙のチンポ  
快樂が流れ込んで  
きて…っ

私のほうもっ…  
気持ちよすぎてっ  
立ってられないっ♡

本当に手コキ  
されてるだけなのっ!?  
普通こんなに  
感じないよおッ♡

さあて快感を共有  
してるってことは…  
二人一緒にチンポ  
刺激したらどう  
なっちゃうのかしらね♡

だめえええっ♡  
一人分のチンポ刺激でも  
気持ちよすぎるのに…っ  
二人同時にチンポ  
シコられたら…っ



んびいひいひいひいひいひい  
イクンンンンンンンンンンンン

魔理沙のジャンクンクンポ  
ザーメクンクンンンンンンンンンン

いったああ  
片方のチンポが  
もう片方もイカせる  
連鎖射精ですツ♡

ジャンクンクンンンン  
ンンンンンンンンン  
んんんんんんんんん  
んんんんんんんんん  
知らないももももも

ふっふっふ  
はやくも  
勝負アリかしら？

精力だけは大了た  
ものね

あら…





んおっ♡んオツ♡  
んおおおおおおー♡♡  
ハシロケンポ射精で  
♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

んぐんぐんぐんぐんぐんぐんぐんぐん♡  
きたっ♡♡♡♡のキンポ射精  
快樂きたああああー♡♡

二人揃って腰を浮かせて  
無様な大射精だ♡♡



じゃあ  
今度こそトドメを...

姉さん！  
もうひとりとは  
どこに行った!?

えっ...?

ポニー

ム!

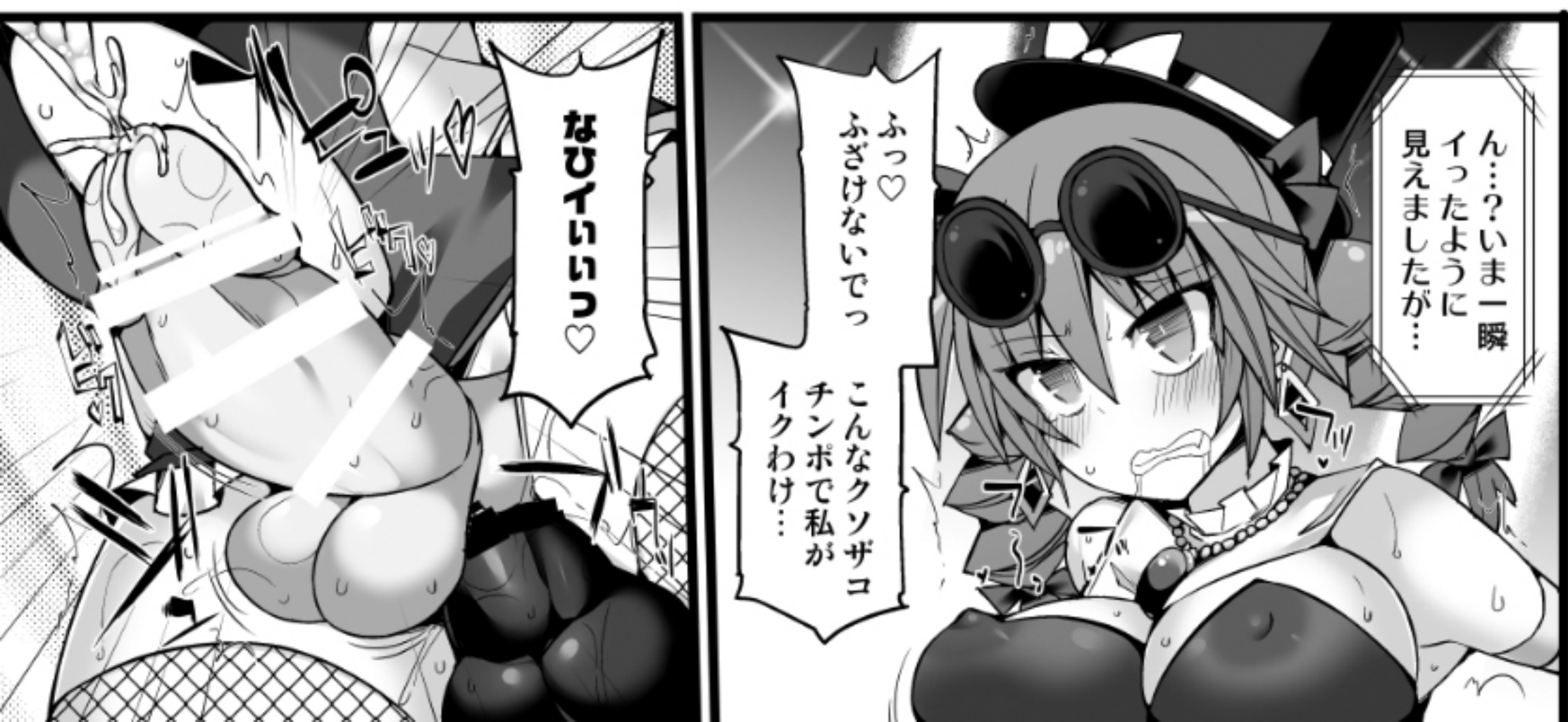






ザコのクセに…  
ひひひひひ♡

あーっとここで  
不意打ちの挿入  
攻撃だーッ!!



ん…?いま一瞬  
いったように  
見えました…

ふっ♡  
ふざけないでっ

こんなクソザコ  
チンポで私が  
イクわけ…

アッッッ♡



なんと強がりも束の間！  
女苑選手一突きごとに  
イキまくっている♡

巨根チンポをぶるんぶるん  
揺らしながらザーメン  
を撒き散らしています♡

豪華な見た目に  
そくわない  
超早漏チンポだー♡

アッ♡

アッ♡

アッ♡

姉さんのチンポ刺激も…っ  
こっちは伝わってき…っ♡

紫苑選手の助けも  
期待できそうに  
ありませんっ♡

あーっ♡  
あーっ♡  
あーっ♡

アッ♡

アッ♡

アッ♡

チンポ揺らしながら  
シゴられてるうっうっ♡

私達二人の…っ♡  
ピンカンなどころ  
的確すぎいいっ♡

んほおおおおあ♡  
イクッ♡イクッ♡イクッ♡  
イクッ♡イクッ♡

だめだめだめ敗けめっ♡  
ザンポにも敗けめっ♡  
チンポもマンコも無様  
敗北しちやうっ♡

あーっと！  
魔理沙選手の膣出し  
射精が決まったっ♡

女苑選手のチンポが  
ブルンブルンと  
パブリーダンスっ♡

膣出しKOされながら  
ガニ股固めて敗北  
ザーメン噴射だーっ！！

女苑選手  
勃てませんッ!!

臆出しとのダブルKOで  
ここで女苑選手は  
失格となります!

もう駄目だ…オシマイだ…  
姉さん一人で  
勝てるはずがないよ

エッチでも役立たずだし  
貧乳で短小で包茎で遅漏で  
自分では動こうとしないし  
文句ばかり言ってる  
姉さんなんて…

だな

人を負けにする能力以外は  
無能のザコ貧乏神を倒して  
サクッと試合終了しようっと



お前達……  
みんなバカにしやがって！  
そんなに言う事  
ないじゃない！

お前達の  
お尻の全責を  
負わせてやる！！

ゴゴゴ  
ゴゴゴ  
ズンズン  
ズンズン

こ、これは  
紫苑選手の周りに  
とてつもないオーラが  
集まって……

なんか体型も  
スゴいことに  
なっています！！



なっなんだ……  
チンポが……♡

わっ私も……



ぷんぷん♡



なっ  
なんだこれ…  
チンポがいつもより  
ポッキして…っ♡



ぷんぷんぷん♡

おおーっとこれは一体  
どうしたことでしょう!?

魔理沙、こいし両選手  
突然の射精だーっ!!

ななな  
ななな♡  
あやうなさる  
がーん♡



チンポが勝手に  
気持ちよくなるっ♡

無理矢理ホッキさせ  
られるっうっ♡

せーえきんまはなこ  
よおおおっ♡

んびいらいらん♡  
イキまへんまらん♡

全員敗けるという事は

んぽおせん♡  
うんっ♡  
おもっか...っ♡

更に全選手が  
射精しまくっていますっ



勝者がいないということ...

しゅっ♡

クワッ♡

クワッ♡

クワッ♡

グワッ♡

グワッ♡



全員が同時に射精して  
萎えるまで

んっ♡いっ♡いっ♡いっ♡いっ♡いっ♡  
イクっ♡またっ♡んっ♡

また  
いったあーっ!!

んっ♡いっ♡いっ♡いっ♡いっ♡いっ♡  
イクっ♡またっ♡んっ♡



おホッ♡うほほおっ♡  
ほっ♡ほっ♡射精  
とまんないイイっ♡

おっおっおっ♡  
だめえチンポばかに  
なっちやうううっ♡

全選手がリング中央  
並んでド派手なガニ股  
連続大量射精だーっ!!

何度でもポツキし  
イキ続けなければ  
ならないのだ!!





ここで試合終了!!

こ…これは一体…  
えーと…

勝者なし…という  
ことでよいでしょうか？

なんだか大変な  
ことになって  
しまいましたがお別れは  
ここでお願いします!!

それでは皆さん  
またお会いしましょう!!



## あとがき

この度はこの本をお手にとって頂き、誠にありがとうございます！  
サークルStapspatsの翡翠石です。

フタナリチンポレスリングシリーズ新シリーズもはやくも二試合目。  
今回は完全憑依バトルを活かすために感覚共有ものに挑戦してみました。  
チンポの感覚がリンクしてて自分と違う性感帯や感度で未知の快感に戸惑ったり  
しながらイっちゃうの…えっちですよね！

それと今回も仰け反り絶頂と腋見せガ二股大量射精が沢山描けて楽しかったです…！  
この構図(ポーズ)いつも描いてる気がするけど、大大大好きだからね、仕方ないよね！  
これからもいっぱい描くと思うのでみなさんにも気に入って頂けていると  
すごく嬉しいです！！

この後もどっぴゅんどっぴゅん精液をぶちまけるオマケのアナザー漫画と  
灯龍さんの素敵なゲストSSが載っていますので是非最後まで楽しんで頂けたら  
幸いです。

今後も春秋、年2回のペースでまったり続けていきたいと思っていますので、  
今後共どうぞ宜しくおねがいします。  
2020年のオリンピックに合わせてフタナリチンポレスリング合同を発刊したい  
野望を秘めておりますので是非楽しみにして下さいね！



どうなるの  
お前ら全員を  
負けさせてやる!!!

Gensoukyou

Futanari

Chinpo

Wrestling IF...Another Story

この会場内にあるチンポ  
すべてと私達のチンポの  
感覚を共有させた!

勿論向こうから  
こっちへの一方通行で  
更に理性も暴走させたわ!

今や彼らのチンポ1本1本の  
快楽がすべて私達のチンポに  
流れ込んでくるわ!

どうしたことでしよう!?  
観客がリングの周りを  
取り囲みます!

な、なんだ...  
お前たち...っ



や、やめし...

はあはあ...  
本当に俺たちのチンポと  
感覚が...?  
どれどれ...



がおっ！マジだよ  
おもしれー！

んおおおツオオオツ♡

俺も俺もっ

俺はタマを...

魔理沙ちゃんのチンポ  
さつきからビクビク  
しまくってるね♡

紫苑選手の能力で脳内  
真っピンクに洗脳された  
観客が各選手を取り囲み  
自らのチンポを  
シゴきまくりますっ

んおおおオツオオ♡  
これっ♡チンポ刺激  
おじけおん♡

リングから離れた場所でも  
スクリーンに映し出された  
映像を観て一斉に  
オナリはじめました！

俺のチンポ快樂を  
こいしちゃんも感じてると  
思うと…ウツ♡

おっ♡おっ♡おっ♡  
乱暴にチンポ刺  
しなりたいです♡

会場中の観客が  
チンポを  
シゴっています！



おほおおおお  
ごめんなさいっ♡  
許してええっ♡

俺はこのあ前の試合会場で  
財布を失くしたんだ  
オラオラッ反省しろっ♡

今日の観客動員数は  
約3000人と  
聞いております！



果たして選手たちは  
3000人分  
射精快楽に耐えられる  
のでしようかっ!?

つまり選手たちの  
チンポには3000人分の  
チンポ快楽が流し込まれて  
いることになりましたっ



んひひひひひひっ♡  
ダメエエもっ♡  
イっちやううっ♡

紫苑ちゃんも  
オシオキだからね  
ホラっほらっ♡



ここで何度目かも  
わからない射精だっ♡

んほっ♡ほっ♡腰っ  
勝手に落ちちゃっ♡  
ガニ股射精  
させられるんっ♡

感覚共有集団オナニーで  
チンポイキっぱなしの  
ドブドブ大量射精天国♡

ンホオオオオオっ♡  
イグイグイグまた  
いくらうらうらっ♡



しかしリングを  
取り囲む観客の数は  
増える一方！

うほっ♡うほほおおっ♡  
シロザル共にチンポ集団で  
シロられて重ねイキッ  
とまんないいいいっ♡

会場内の観客全員の  
チンポが萎えるまで  
頑張れ選手たちっ！！

おほっ♡ほおおっ♡  
だめだめだめチンポ  
イキすぎてはかに  
なりゅじゅじゅっ♡

Another END

おまけ

おまけ書いた人…灯籠

「おいおいマジかよ……これが本物なら大変な事だぜ……」

魔理沙は目を見張った。「クラーケンの目」なんていうものがこの幻想郷に存在するのだろうか。

(本物であれば、貴重な魔法薬の材料になる。この『招待』、賭けてみる価値はありそうだな)

★★★

そして数日後。

魔理沙は、リングに上がっていた。

「特別試合には、チャンピオン霧雨魔理沙氏をお迎えしております！ 対戦相手は、今日デビューの二人によるタッグです！ チャンピオンの胸を借りて、精一杯頑張ってください！」

GFCWを象徴する魔理沙の登場に沸き上がる場内。魔理沙は手を振ってそれに応えると、対戦相手の方をチラリと見る。

(確かに名前を見た時は『聞かない名だな』と思ったが……二人、それも男とはな……)

二人の男は、割と体格がいい方だったが、闘志や闘気と言った『雰囲気』が伝わって来なかった。

「うわー本物の魔理沙ちゃんだわ！ やっぱカワイイな♥」

「チャンピオンと戦えるなんて、シアワセだなあー」

「(何だか素人丸出しなヤツらだな……) まあいいぜ、まとめてイカせてやるからかかって来なっ！」

「さあ試合開始のゴングが鳴りますー！」

(しかし、二人とは言えデビュー戦とは、楽勝ムードだぜ。賞品は頂きだな)

「うおーっ！ やってやるー！」

猛烈に飛び掛かって来る男達だが、見るからに初心者である。

(こんな猪タツクル、かわすのは造作ないぜ！)

「甘いつ！」

二人の間を縫って、右のヤツの脚を取る……

(な、何だ?)

……ハズであった。

気が付けば、仰向けに押し倒されていたのは魔理沙だった。

「くそっ!? 何だコイツら……出来る!？」

「チャンピオンのお墨付きを頂けるとは、有り難いなあ」

押さえ付けたまま、男が耳元で囁いた。

「早速、魔理沙ちゃんのピンピンチンポを……」

軽く握り、シコシコとしごく男。

「ふあっ♥」

「いただきまあす♥」

男は竿を握ったまま、先端をぱくりと啜えた。

「じゅっぽっ♥ じゅるじゅるじゅるっ♥ れろれろれろお♥」

亀頭に濃厚な唾液が絡まる。熱い舌肉が、敏感な粘膜をこねくり回す。

「ん……つくうっ♥ チンポしゃぶるなあっ♥」

チンポ責めから逃れようとジタバタ暴れる魔理沙だが、もう一人に覆い被さられてはそれも叶わない。

「じゅっぽっ♥ じゅっぽっ♥ くちゅくちゅくちゅう♥ ねろねろねろお♥」

「んああ〜っ♥ やめろお♥ つほおっ♥ そんなイヤらし……んふああ♥」

じつくりと、それでいて激しくチンポを味わわれている——それを感じさせる激しい水音。被虐の悦びにも似た屈辱感が魔理沙の体をゾクリと震

ゾクリと震わせる。

龟头を舐られながら唇で竿をしごかれるともう堪らず、鈴口からはじゅくじゅくと先走りが漏れ、口内の粘度を高めていく。

「んはあっ♥♥ うほっ♥♥ ほほおっ♥♥(コイツ本当に初心者か……巧すぎる……だろおっ♥♥)」

「ガマンしてるのにオホ声漏れちゃってる魔理沙ちゃんカワイイな♥♥」  
押さえ付けていた方の男も、ゆっくりと舌を伸ばして魔理沙の頬を舐め上げた。

「ひいあっ♥♥ なっ♥♥ 何す——んちゅうっ!?!♥♥」

言葉の終わる前に、それは男の唇によって物理的に塞がれた。キスである。「んんんんんん♥♥ むうぐぐぐふううううう♥♥」

突然傾れ込んで来た、軟らかく温かい肉と唾液のぬめり。不快な責めに魔理沙は目を瞑り、拒絶の反応を示した。

魔理沙の緊張を解すように、優しく、しかし深く攻め入って来る男。

「ちゅっ♥♥ ちゅっ♥♥ くちゅくちゅ♥♥」

唇を吸い、舌を挿し込み、唾液を混ぜ合わせる——口内を蹂躪されると言うのに、その口内は快感に対して余りに敏感で。一瞬身を強張らせた魔理沙だったが、ヘナヘナと力が抜けていく。

(な、なんで……知らない男となのにっ! キス……あつたかくて……頭シビれる……っ)

粘膜が擦れる度に、唾液に曝される度に、口も、チンポも、感度が増していく。クチュクチュ、じゅぶじゅぶと言う水音に意識を溶かされていく魔理沙。

(まずい……このままじゃ、抵抗しなくちゃ……試合中なのに、射精させられちゃう……!)

射精を予感した魔理沙は、負けてたまるかと、力一杯男達を跳ね除ける。二人がかりの男達はビクともしなかったが、自分たちの意思で魔理沙か

ら口を離れたようだった。

ちゅぽん、と音を立てて、龟头と舌が解放される。

「んはあはっ♥♥」

「あ〜♥♥ 魔理沙ちゃんのチンポおいしかった♥♥ 龟头はプリプリだし、イク寸前のしよっぱいネバネバ汁が舌に絡まってサイコーだったよ♥♥」

「でも勝手にイツちゃダメだぞ? イキちんぽとイキ顔はちゃんとお客さんにも見せてあげないと♥♥」

「くっ♥♥ くそおっ♥♥(コイツら……イキそうなの分かって……!) でもここから反撃だぜ——」

「おっと逃げられると思ってるのかな?」

押さえ役に足首を掴まれた魔理沙は、仰向けのまま股間を曝け出してしまふ。シゴき役が無防備なチンポを握り締めた。

「ホラッ♥♥ イカせてやるから皆に見せ付けろっ♥♥」

「ああ♥♥ やめ——」

「そおくれシコシコシコ♥♥」

「んははあんっ♥♥ あッ♥♥ ふ……っ♥♥ こんな、手コキ……っ♥♥ 効かにはあっ♥♥ うんっくう♥♥」

「そんなコト言っつて、ココがイインでしょ♥♥」

「んはあっ♥♥ んはっ♥♥ はひいっ♥♥」

親指が竿ごしに尿道を愛撫し、裏筋を優しくなぞり上げる。四本の指の間に生まれた段差が、カリ首をゴリゴリと弾く。握る力自体は強くなく、それがかえって魔理沙の快楽神経を揺さぶった。

「んひいひい♥♥ ウマすぎるうっ♥♥ やめろおっ♥♥ イツちゃうっ♥♥ とめろおお♥♥」

魔理沙の体がぎゅっと縮こまり、絶頂の準備を始める。それを感じた押さえ役がグツと魔理沙の四肢を後ろ側に引き、体の前面をよく見えるように曝け出させる。

「イツちゃえ魔理沙ちゃんっ♥ チャンピオンちんぽシコられてイツちゃえっ♥」

「んイグっほほおおお〜〜〜っっっ♥♥♥」

びゅ〜〜〜るるるるるるうっ!

天井目掛けて白線が打ち上げられた——魔理沙は文字通り仰天する。全身の力と言う力が、鈴口から射出されて行くような。そんな、今までに感じたことのない快感だった。

「んほおおおイツて……イカされてるううっ♥♥♥ ほああああ♥♥♥

なんだっ♥♥♥ なんだコレえええ♥♥♥ キモチよしゆぎるうううっ♥♥♥」

「……魔法が切れたんだよ」

「ふおっ♥♥♥ おふおっ♥♥♥ まあっ♥♥♥ まほお?♥♥♥」

「そのコスチュームには魔法が掛けられてるんだ。魔理沙ちゃんがイクまで、媚薬の効果を抑える魔法がね」

「ピヤクうっ?♥♥♥ なんのことだあっ♥♥♥」

「おや、何も思わなかった? チャンピオンにしては意外とニブイんだねえ」

——招待選手として歓迎、厚遇された。控室にも、かなり広い個室を充てられた。

……変わった香を焚いているな、と思った。蒸しているの、置いてあった飲み物を飲んだ。そして、主催者側が用意したコスチュームを着た。

つまり、魔理沙の気付かぬうちに体は媚薬に蝕まれていた——そして買ったことでその効果が一気に現れたのだった。

「くうっ♥♥♥ くしょおっ♥♥♥ だましてたのかあっ♥♥♥」

「今更気付いても遅いよ魔理沙ちゃん♥♥♥ まだまだたっぷりイカせてあげるから、お客さんに媚び媚びのかわいいイキ顔見せてね♥♥♥」

「おまえらみたいなの♥♥♥ ヤツにい……まけてたまる——」

シコシコシコシコ!

「かはあああああんっ♥♥♥♥♥」

「うん? 何か言ったかな?」

「んほほおおっ♥♥♥♥♥ イキっ♥♥♥♥♥ イキたてチンポおっ♥♥♥♥♥ そんなにシコシコしてたらあっ♥♥♥♥♥」

あまりの快感にのたうち回る魔理沙に、追撃が加えられる——男の指先がコスチュームの上から尻穴にねじ込まれたのだ。

「ウホホおっ!?♥♥♥♥♥ いっ♥♥♥♥♥ いきなりいっ♥♥♥♥♥ おしりいにつ♥♥♥♥♥」

「ほれほれ♥♥♥ 魔理沙ちゃん、ケツ穴好きでしょ?♥♥♥」

「ほっ♥♥♥♥♥ ほおほっ♥♥♥♥♥ おけちゅホジホジでイクっ♥♥♥♥♥ んほほおお♥♥♥♥♥ イクイクイクイク♥♥♥♥♥」

びゅびゅっ! びゅるるるるる!

魔理沙は男の胸に後頭部をグリグリと押し付けながら、精を打ち上げた。「ココもココも、魔理沙ちゃんのケツ穴アクメポイントなんだよねー♥♥♥」

「にやっ♥♥♥♥♥ にやんでえっ♥♥♥♥♥ バレてるのほほおおっ♥♥♥♥♥」

「チャンピオンのファンだからね♥♥♥ 過去の試合も何度も見て研究してるんだよ♥♥♥ 魔理沙ちゃんの弱点は全部知り尽くしてるんだから♥♥♥」

「ほらっ♥♥♥ ほらっ♥♥♥ ホジホジ♥♥♥ シコシコ♥♥♥」

指を抜き差しされ、皺をこねくり回され、快感は鋭さを増していく一方だった。舌を突き出し、涙を浮かべながらイキまくる魔理沙。

「んおおっ♥♥♥♥♥ ンホッ♥♥♥♥♥ ンホッ♥♥♥♥♥ ンッホホおおお〜〜♥♥♥♥♥」

びゅるる! びゅるるる!

「やっぱりチャンピオンのイキっぷりは格が違うな〜♥♥♥」

「ほら、スクリーンに映ったマヌケ面、皆が見てるよ♥♥♥ 嬉しい?♥♥♥」  
クチュクチュと尻をほじりながら男に問われるが、魔理沙は未だ濃さを残す精液と——ケモノのように太い喘ぎ声を出すことしか出来ない。



らりえてるううう♥♥♥」

「ほらほらあ♥ イツちゃえイツちゃえ♥ 負けちゃえっ♥ チャンピオンなのに弱点責めされてイキまくっちゃえっ♥」

「まけまひたあっ♥♥♥♥♥ ぴーしゅっ♥♥♥♥♥ ぴーしゅ♥♥♥♥♥ まりしゅっ♥♥♥♥♥ おちんぼまけまひたっ♥♥♥♥♥」

白目を剥きながら敗北宣言をしよう魔理沙。

男の拘束からも触手ブラからも解放され、仰向けで力無くマットに横たわる姿には、チャンピオンの威厳は残されていないなかった……。

「でもねー、負けさせてあげる訳にはいかないんだな」

「魔理沙ちゃん、まだピンピンでしょ？ チンポ勃ってる限りは試合続行だなー♥」

「へあ……♥♥♥♥♥ も……もおやめえ……♥♥♥♥♥」

媚薬の効果が余程強力だったのか、魔理沙のチンポはイケどもイケども萎える事はなく、それどころか硬さを増している程だった。

「魔理沙ちゃんのトロけ顔オカズにしてシコっちゃおうかな♥」

「やあっ♥♥♥♥♥ やだあっ♥♥♥♥♥ オカズにしちゃらめえっ♥♥♥♥♥」

「ああ〜チャンピオンのブザマ姿サイコーっ♥」

魔理沙の黒いコスチュームを、金色の髪を、紅潮した頬を——そしてピンク色の口内まで。熱い白濁が汚していく。

「オッホ♥♥♥♥♥ オホッ♥♥♥♥♥ あちゅっ♥♥♥♥♥ あちゅいっ♥♥♥♥♥ せーえきっ♥♥♥♥♥ ぶっかけられてイツぢやうっ♥♥♥♥♥」

「ブツカケられてイクなんて魔理沙ちゃんの変態だなあ……ああまた出るう♥」

「チンポにもブツカケてやるっ♥♥♥♥♥ それっ♥♥♥♥♥」

「のおっほおおっ♥♥♥♥♥ チンポにせーえきっ♥♥♥♥♥ ザーメンチンポアクメきちやううう♥♥♥♥♥ ブザマアクメさらしちやうのほほおお〜〜〜♥♥♥♥♥」

★★★

ひとしきり射精した男達のチンポは、しおしおと萎えていく。一方で媚薬の効果が続いている魔理沙は、勃起状態を持続したままだった。

結果、魔理沙の勝利である。

「はああ……さすがチャンピオン。ブツカケ心地最高だったぜ♥♥♥♥♥ もうキントマ空っぽだよ」

「あースッキリした♥♥♥♥♥ ……魔理沙ちゃん、まだチャンピオンでいられてよかったね♥」

「あへえ♥♥♥♥♥ えへへええ……♥♥♥♥♥ ありがとうごじやいまひゅ……♥♥♥♥♥ まりしゅうれひれしゅう……♥♥♥♥♥」





発行サークル：Stapspats  
執筆：翡翠石(ヒスイ)  
誌名：幻想郷フタナリチンポレスリングEcstasy2  
魔理沙&こいしVS女苑&紫苑  
発行日：2018/05/06  
印刷所：ねこのしっぽ  
PixivID：1473639  
TwitterID：hisui\_spats  
E-mail：spatz@hotmail.co.jp

※18歳未満の方の購入/閲覧を禁止します。  
無断転載/複製複写/Webへのアップロードを禁止します。

魔理沙&こいしタッグ  
依神姉妹の挿入責めから  
抜け出せない♡♡

互いに向かい合うよう  
拘束されチンポの味を味わ  
わされてしまっているぞっ♡

もう何度も射精させられて  
出した精液はお椀に  
貯められ射精量が  
ひと目で分かりますね♡

最凶最悪のコンビに  
取り憑かれてしまった  
二人に果たして勝ち目は  
あるのでしょうかー!?

# SENSOUKYO 幻想郷フタナリチンポレスリング

## FUTANARI CHINPO WRESTLING

MARISA & KOISHI VS JONN & SION Ecstasy2

魔理沙&こいしタッグ  
依神姉妹の挿入責めから  
抜け出せないっ♡

互いに向かい合うよう  
拘束されチンポの味を味わわ  
されてしまっているぞっ♡

もう何度も射精させられて  
出した精液はお椀に  
貯められ射精量が  
ひと目で分かりますね♡

最凶最悪のコンビに  
取り憑かれてしまった  
三人に果たして勝ち目は  
あるのでしょうか!?!